

2022年7月11日

神戸市交通事業管理者
城南雅一様

神戸交通労働組合
執行委員長 五百旗頭 英裕



労働条件・職場環境の改善、予算確保に関する要請書

日頃から、職員の労働条件や職場環境の改善をはじめ、労働安全衛生の確立に向けてご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症は、一時は終息する兆しが見受けられたものの、新たな変異ウイルスの発生が確認され、再び感染者が急増してきている状況です。このような中、私たち市バス・地下鉄職員は、市民・利用者はもちろんのこと、職員や家族の命と健康を守るため、感染防止に努めながら、日夜、職務にあたっています。

また、政府による度重なる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発令により、市バス・地下鉄の乗客数や乗車料収入は大幅に減少しています。

これらを踏まえ、私たち職員の生活や健康を守るため、労働条件や職場環境の改善を図るとともに、市バス・地下鉄を市営交通として維持・存続させるための予算確保にむけ、下記のとおり申し入れますので、最大限の配慮をお願い申し上げます。

記

1. 「神戸市営交通事業 経営計画 2025」の関連事項について

(1) 新型コロナによる経営計画への影響と今後の見直しについて

「神戸市営交通事業経営計画 2025」に対する、新型コロナウイルスの感染拡大の影響について全職員に周知すること。

(2) 料金改定について

将来にわたって市バス・地下鉄を維持していくために、「神戸市営交通事業経営計画 2025」の見直しの一環として、両事業とも必要な料金改定にむけて検討を進めること。

(3) 人材の確保・育成について

持続可能な地域公共交通を実現するため、人材の確保・育成にむけて、勤務・労働条件の向上に努めること。

(4) 給与カットの見直しについて

円安やエネルギー価格の高騰などを含め、大幅に物価が上昇していることを

踏まえ、職員の生活を守るためにも、2023年4月から実施される交通局採用職員の10%の給与カットについては見送ること。



2. 公共交通のあり方について

「未来都市創造に関する特別委員会」での提言書にある、「神戸ダイバーシティ交通」の実現を目指し、公営交通への新たな公的補助制度の設置にむけ関係各局への働きかけを強化すること。

3. 北神線の一体的運営について

北神線の直営化にあたっては、関係支部と情報共有を図りながら、十分に協議を行い、労使合意のもと実施すること。

また、県・市からの補助金については、現行の金額を最低限維持してもらうよう努めるとともに、新たな補助の枠組みについて検討するよう申し入れること。

4. 公務員の定年延長について

定年延長は、雇用と年金の接続のための制度であることを踏まえ、誰もが安心して働き続けられるための環境整備に努めること。

5. 現業職5級への昇格について

現場職員のモチベーション維持と活躍できる職域の拡大のため、現業職5級への昇格制度を早急に実施すること。

6. 36協定の遵守と改善基準告示について

全職場において、36協定が遵守されているか確認すること。

また、改善基準告示については、安全・安心な運行を第一に考え、十分な睡眠時間を確保するためにも、11時間の休息期間を設けるよう努力すること。

7. アルコール検査について

バス・地下鉄の現場に義務付けているアルコール検査について、交通局職員全員を対象に実施すること。

8. 営業所の管理委託について

時限的にダイヤ振りを行ってきた直営営業所の乗組数の回復にむけ、継続的かつ計画的な新規採用に努めること。

以上